

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 西部地域の重要課題について (30分)</p> <p>齊藤芳久市長におかれましては、市長就任以来五ヶ月目を迎え、市政全般にわたり日々懃々と鶴ヶ島市の舵取りに奔走のことと思います。今回、平成30年第1回定例会において、齊藤市長に対する私の最初的一般質問になりますが、これまでの一般質問では、特に西部地域の諸課題について要望してまいりました。</p> <p>先の平成29年第3回定例会にて前藤繩市長の12年間の総括として、私の質問の答弁で、行財政改革では土地開発公社の保有地の買取り、一本松土地区画整理事業の見直し、指定管理者制度やPFIの導入、公民館の市民センター化、土曜日窓口開庁、職員数と年齢構成の適正化、地域支え合い協議会の設立と運営支援、地域公共交通の拡大整備、県農業大学校の移転と跡地への企業誘致、寄附を呼び込む制度設計とその定着等々でした。</p> <p>教育改革については、公民館の市民センター化により、教育関連等の事業のみならず、福祉、防災など市民生活全般に及ぶ地域の拠点を確保。また、学校施設の耐震化、校舎への空調整備、給食センターの更新、洋式化を含む学校トイレの改善を手がけました。</p> <p>まだまだいろいろと完成させなければならない、あるいはまた新たに展開しなければならないさまざまな事業、施策がございます。それにつきましては、誠心誠意次に市政に取り組んでくださる方に託し、期待をしていきたいと考えておりますとのことでした。</p> <p>齊藤市長は平成29年第4回定例議会での所信表明にて前藤繩市長が推進してきた事業を基本的に踏襲していくとの表明でありましたが、以下、西部地域に対する今後の事業推進への決意をお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 一本松駅南口の開設に向けて (2) 鎌倉街道の整備について (3) 一本松五差路交差点の整備について (4) 新町中央広場の整備について 	市長